

高校生のための出張講義「知のフロンティア」講義一覧(人文科学)

NO.	学部・学科	担当教員	講義テーマ	講義内容
1	国際文化学部英語文化学科	アラン・ポツフォード	Walt Whitman's 'Song of Myself'	An introduction to American poet Walt Whitman's strange and beautiful long poem 'Song of Myself'.
2	国際文化学部英語文化学科	安藤 潔	英語の歴史と英語の詩	英語を勉強する上で常識的な英語の歴史を概観し、英語文化の中でも重要な存在の英詩について、簡単な代表作を紹介しつつ説明する。
3	国際文化学部英語文化学科	大橋 一人	言葉のしくみと心	日本語の「新聞」と「新聞紙」には何か意味の違いがあるの？ それを英語ではどうやって区別しているの？ そんな素朴な疑問の答えをいっしょに探してみよう。
4	国際文化学部英語文化学科	草山 学	ことばが違うと世界も違って見えるのか！？ —日本語発想と英語発想のギャップに迫る—	同じことを経験しているのに、日本語と英語では、その状況を説明する言い回しが異なる場合があります。同じモノを見ているのに、なぜ、言語によって説明の仕方が異なる場合があるのでしょうか。このような疑問から出発し、日本語らしさ・英語らしさといった言語感覚のルーツに迫っていきたい。
5	国際文化学部英語文化学科	児玉 晃二	「物語」とはなにか	小説でも映画でも漫画でもゲームでも、私たちは日常的に「物語」を消費しています。では、この「物語」って何なのでしょう。グループワークで実際に「物語」を作りながら、「物語」を構成する要素について考えていきたいと思います。
6	国際文化学部英語文化学科	ジョセフ・マキーム	Communicating with the World through Filmmaking	現在のテクノロジーは私達と世界が考えを共有する機会を与えている。学生と共に英語の短編映画を製作しコミュニケーション表現の可能性を探りたい。状況に応じて、クラスのメンバーとショートムービーを作ることもあります。
7	国際文化学部英語文化学科	デイヴィッド・J・ヒース	今読んでいる翻訳は信用できますか？	ニュース雑誌などのニュース翻訳は必ずしも忠実でないことが翻訳研究で明らかになりました。原文に書かれた事実とメッセージは翻訳者、編集者等翻訳プロセスに関わる人たちの意図で部分的に量かされたり、削除されたりすることによって原文との食い違いが生じます。その実例を紹介し、その社会的影響を考察します。
8	国際文化学部英語文化学科	萩原 美津	英国紳士 イギリス文学作品に見るジェントルマン像の変遷	「紳士の国」イギリスにおけるジェントルマンとは元来どのような人々のことを指し、それはどのような変遷を辿ったのか。文学作品のなかに描かれるジェントルマンにも注目します。
9	国際文化学部英語文化学科	平坂 文男	日本語と英語の音声学的差異	英語と日本語とは、その音声の体系が大きく異なっています。英語の文をそのまま日本語のように読んだだけでは、ネイティブ・スピーカーにこちらの意思が伝わらないのは当然です。この授業では、日本語と英語の発音には、どのような違いがあり、どこに注意を払えばネイティブ・スピーカーにうまく伝わるようになるかを述べます。
10	国際文化学部英語文化学科	福園 容子	シェイクスピアはことばの魔術師	シェイクスピアの作品は、当時無学な大衆から貴族まで、あらゆる階層の人々から愛されました。その最大の理由は、彼の紡ぎ出す「ことば」の世界の豊かさです。彼の「ことば」を通して、時代を超えてシェイクスピアが愛され続ける理由を探ってみましょう。
11	国際文化学部英語文化学科	吉田 広毅	なぜ英語を学ぶのか？：英語学習者の多様性	英語の授業において、同じことを同じように学んでいるようにみえても、学習者それぞれに英語を学ぶことに対する思いや英語の学び方は異なります。ここでは、そうした学習者の思いや考え方、そこから生まれる学び方の違いなど、英語学習者の違いを探っていきましょう。
12	国際文化学部比較文化学科	伊東 光浩	「動かせる」はどうして「動く」ことをサセルの意味にならないのか？	「書く」(カ行五段活用)に「せる」を付けると「書かせる」、「動く」(カ行五段活用)に「せる」を付けると「動かせる」という言い方になります。「書かせる」は「書く」ことをサセルの意味ですが、「動かせる」の方は、「動かす」ことがデキル意味になってしまいます。どうしてでしょうか。
13	国際文化学部比較文化学科	伊藤 健人	外国語としての日本語	日本語を数ある言語の中の一つとして見た場合、どのような特徴が認められるのでしょうか。また、日本語母語話者が日本語について知っていることとは、どんなことなのでしょう。この講義では、日本語を一つの言語として捉え、他の言語との類型的な比較を行いたいと思います。
14	国際文化学部比較文化学科	碓井 みちこ	映像文化を学ぶ	映画の良さ、面白さを理解するには、登場人物やそこで描かれている出来事、ストーリーに気を配るだけでなく、それ以外の要素をどこまで取り入れて考えていくというのが鍵になってきます。
15	国際文化学部比較文化学科	菅野 恵美	出土文物から知る古代中国の暮らしと歴史	お墓に埋葬された死者のための器物は古代中国の人々の暮らしを生き生きと物語ります。現代の中国から考えると、古代の中国は大きく異なり、歴史的な影響を受けながら変化してきたことが分かります。
16	国際文化学部比較文化学科	君塚 直隆	女王陛下の90年 —エリザベス2世と戦後イギリスの歴史—	2016年に満90歳を迎えたエリザベス2世の人生を振り返ることで、第二次世界大戦後のイギリスが国内外でたどってきた歩みをとらえていきます。
17	国際文化学部比較文化学科	佐藤 茂樹	ドイツ語を学んで世界を知ろう	ひとつの回路だけに頼っていると、その回路のバイアスに色づけられた情報しか得られません。複数の言語を通じて、多くの情報に相対的にアクセスできるようになってみませんか。
18	国際文化学部比較文化学科	鄧捷	中国の映画から考える異文化理解	異文化理解とは何か？他者を知るということだけか、それとも自己への再認識(時にはアイデンティティの危機に陥ること)も要求されるのか。他者理解は実は表裏一体であることは、高校生の恋愛を描いた中国映画「スパイシーラブス」を見ることから考える。(映画上演時間25分)
19	国際文化学部比較文化学科	富岡 幸一郎	比較文化の冒険 —岩倉使節団の欧米体験—	明治4年に日本の指導者たちは、アメリカとヨーロッパを視察するために632日に及ぶ大旅行をしました。それは外国を知ることで、日本の国づくりをするための比較文化の大冒険でした。
20	国際文化学部比較文化学科	矢嶋 道文	江戸時代の「鎖国」をヨーロッパと比較する	江戸時代の大半は「鎖国」政策(約1640～1853)の下におかれていた。講義では、この「鎖国」について、同時代のヨーロッパとの比較で考える。
21	国際文化学部比較文化学科	八幡 恵一	テロ事件から考えるフランス	2015年1月にパリでおこったテロ事件の背景や、事件に対する人々の反応から、フランスという国の歴史や文化について考える。
22	社会学部 現代社会学科	高橋 美恵子	『エミール』が今に伝えること ～教育の名著を読んでみる～	『エミール』(J.J.ルソー著)は教育小説です。うんざりするほど長編ですが、どこからでも読んでみると、意外に人間や自分や人生についての知恵がいっぱい詰まっていて、心にしみる名句にも出会えます。
23	社会学部 現代社会学科	細田 聡	あなたは本当に自分を信じられますか？	「見れば納得する」、「自分の記憶に間違いはない」って本当でしょうか？心理学の簡単な実験を通してこれを検証してみましょう。意外と知らない自分が発見できるかもしれません。
24	経済学部 経済学科	原田 祐貴	英詩を楽しむ	短い英詩を読解後、作品世界を視覚的・歴史的・音楽的に楽しみます。
25	経済学部 経済学科	細谷 早里	「異文化間能力」とは？	グローバル化の進んだ社会に生きる私たちは、いつでも異文化と遭遇する可能性があります。そんな私たちにこれから必要とされる能力が「異文化間能力」です。
26	経営学部 経営学科	内藤 幹子	宗教とハラズメント	「宗教」という枠内で起こりやすい各種ハラズメントの実態や仕組みを知り、自分の身を守る知恵を身に付けましょう。
27	経営学部 経営学科	中原 功一朗	言語と社会、文化	私たちの社会生活と言語の関係について、また文化と言語の関係について、日本とシンガポール、フィリピンなどと比較しながら、お話しします。
28	経営学部 経営学科	中村 友紀	人はなぜ復讐劇を欲するか？	ギリシャ古代演劇からハリウッド映画まで、復讐ストーリーに私たちが夢中になる理由を考えましょう。
29	法学部 法学科	串田 美保子	異文化間コミュニケーション	世界の人々と上手くコミュニケーションをするためには、英語など相手国の言語を習得することが頭にすぐ浮かびますが、実際には、そのように相手の言語を身に付けるだけでは、異文化間のコミュニケーションが上手くいくとは限らないのです。つまり、異文化の違いを理解して、初めて乗り越えられる壁があるのです。「異文化間コミュニケーション」について、一緒に考えてみましょう。
30	法学部 法学科	鈴木 みゆき	私とあなたの心理学 ～「人と関わる」私たちのこころ～	私たちは他者と関わりながら生きています。他者との関わりの中では様々な悩みや疑問を感じることも多いでしょう。他者と関わる際の私たちのこころについて考えてみましょう。
31	法学部 地域創生学科	村椿 真理	「信頼とは何か」その哲学的・教育学的解明	現代社会の端的な特徴のひとつは「信頼の喪失」であると言われています。では信頼とはそもそもどのようなものであったのでしょうか。改めて、この問題を深く学びなおしてみたいと思います。

高校生のための出張講義「知のフロンティア」講義一覧(人文科学)

NO.	学部・学科	担当教員	講義テーマ	講義内容
32	人間共生学部 コミュニケーション学科	山田留里子	中国語の“麦当劳”って何？ 一歌って楽しく中国語を覚えましょう！-	世界で最も多くの人々が話すといわれる言語、それが中国語です。しかも中国語は漢字だけで表す言葉です。例えば、チョコレートやアイスクリーム、そして、マグドやベンツ、パソコンやスマホなども漢字で表しますよ。そういった不思議な言語を、オリジナルの中国語会話の歌で、歌いながら楽しく学んでいきませんか。簡単な中国語日常会話話せるようになりますよ。
33	人間共生学部 コミュニケーション学科	黒崎真由美	グローバル社会で生きること	グローバル化が進む現代社会では、ヒト・モノ・カネがボーダーレスに急速に動いています。そこで生きる私たちには、何が求められているのでしょうか。この講義では、「グローバル人材とは何か」、「世界共通語としての英語の重要性について」考えたいと思います。講義は、英語を交えて行います。また、コミュニケーションのための英語表現も紹介します。
34	人間共生学部 コミュニケーション学科	佐野予理子	人間関係の心理学	どんな人でも自分の周囲にいる人々とい関係築きたいと思っています。それでは、人はどのような人に魅力を感じ、一緒にいたいと思うのでしょうか。また、人間関係をうまく維持していくにはどうしたらいいのでしょうか。もし関係が悪くなってしまったらどのように対処すればいいのでしょうか。人間関係の形成・発展・維持について社会心理学が明らかにしてきた知見を紹介します。